

# News 近畿圏広域地方計画 ニュース 2008.2 vol.4



国土交通省 近畿地方整備局 近畿圏広域地方計画推進室  
TEL. 06-6942-1141(代)

おおむね10年後の「近畿圏の目指す姿」が明らかになり、今後戦略などの議論を経て、近畿圏広域地方計画の形が現れていきます。今号からリレーメッセージとして各界の著名人の方に近畿の魅力や近畿圏広域地方計画に寄せる期待などを、ご紹介します。

第1回は、サントリー次世代研究所の狭間恵三子さん(近畿圏広域地方計画学識者会議委員)です。

## 暮らしやライフスタイルから、 近畿の魅力を見つめ直す。

### 暮らしやライフスタイルからみた 近畿の魅力とは何か？

ヨーロッパは多中心構造であり、多中心の個々に違った魅力がある。しかもEUになってスムーズに移動できるように規制緩和を進め、国境を感じずに周遊できる。日本では近畿が多中心の圏域に最も近い。この強みを活かすためには、個性ある都市がさらに個性を極めながら、広域的な課題にも取り組み、「多中心」の魅力のアジア、世界に情報発信することが大切だ。さらに、東京への一極集中を是正するための地域核という考えではなく、多彩な暮らしや産業を実現できる全く違う新たな中心核となるという方が近畿らしい。

### 近畿の魅力をこれからの地域づくりにどう活かしていくか？

世界市場で活躍する企業を集める求心力は、ビジネスに偏重したスキームのみで生み出せるものではない。その場所で働きたい、住みたいと思える「暮らしやすさ」も重要な要素。関西は、仕事だけあるいはリタイア後の静かな暮らしだけでなく、仕事で自己実現をしながら自分の生活も保障できる地域であり、これが売りになる。ここに住めば安心できる、仕事と生活が両立できるといったメリットをもっと感じられるようにすることが望ましい。また、都市と自然の両方を享受するような、多様なライフスタイルを楽しむには、医療や福祉に代表される行政単位でしか受けられない住民サービスなどのバリアを一部取り除くことも必要かもしれない。どこに住んでも同様のサービスを受けられる広域的なネットワークが整えば、新たな住民を取り込めるのではないだろうか。



サントリー次世代研究所  
はざま えみこ  
狭間 恵三子さん

#### 略歴

サントリー株式会社入社後、人事部、広報部を経て、不易流行研究所(2005年3月に次世代研究所に名称変更)課長。人々のライフスタイルやニーズの変化、家族の動向等を研究テーマとしている。2007年4月より近畿圏広域地方計画学識者会議委員を務める。

### 今、必要な情報発信力の向上や 人材(リーダー)育成について

近畿圏の魅力を国際的に伝達するためには、情報発信力という弱みを克服しなければならない。課題は広報戦略の強化だが、東京に集中しがちのマスメディアだけに頼るのは難しい。地道かもしれないが、人材交流は手堅く効果的な情報発信として口コミ的役割に期待できる。特に関西は、人と人とのネットワークが強く、コラボレーションしやすい土壤だからだ。専門領域を超え、様々なジャンルの人とディスカッションできるのは、狭いゆえのプラス面でもある。また、広域的なプロジェクトではリーダー、プロデューサーの力量が成功を左右するため、人材育成という視点も欠かせない。

### 近畿圏広域地方計画に寄せる期待

広域地方計画は行政のためだけに作る指針ではなく、多くの人にとって指針になるべきもの。企業、市民、行政それぞれの力を集め近畿をどうしていくのか。どのような目的をもって誰が実施していくのか、具体性を持ったビジョンがほしい。そして市民も含め様々な組織や人の参画を促す計画になることを期待している。



## 近畿圏の目指す姿のご紹介

昨年10月22日の第3回近畿圏広域計画検討会議でおおむね了承された「近畿圏の目指す姿」は、近畿圏広域地方計画の基本的な方針となるもので、今後実現を目指す7つの目標（近畿圏の将来像）を掲げています。近畿圏が目指す7つの目標（近畿圏の将来像）とはどのようなものなのか、今号より詳しく紹介していきます。

### 目指す姿 ① 歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み育む圏域

近畿圏は古くから都が置かれた歴史豊かな地域であり、貴重な文化財、美しい景観、細やかな伝統工芸などが今も大切に保全・継承されています。これからも次代に向けて近畿圏ならではの歴史と文化を継承しながら、日本文化を象徴する圏域として、質の高さにこだわった本物のまちづくり・ものづくり・ひとづくりを行います。

また、近畿圏各地で長年にわたり守られてきた伝統や文化、風景などを国内外に広く発信し、個性あふれる近畿圏全体で広域観光・国際観光圏域を形成します。

#### Case Study

#### 地域固有の資源を核にパッケージ化した地域づくり

##### ● コウノトリと共生するまちづくり 兵庫県・豊岡市の事例

地域住民や企業によるコウノトリの保護繁殖への取り組みが地域産業の活性化にも活かされ、環境保全と経済活動が相互に高まる各種事業が行われている。



農業を使用しない環境に優しい農法の実践



コウノトリを育む農法で栽培した米・酒が出荷増

##### ● 歴史的資産と一体となったまちづくり 京都府・京都市の事例

清水寺のような歴史的な資産だけでなく、産寧坂など周辺の地域も含めてまちづくりを行い、全体として保全していく必要がある。また、京都の歴史・文化を、京都人の生活、先端産業の海外との企業活動にまで絡め、京都のブランド価値が成立している。



清水寺



産寧坂

#### Case Study

#### 地域が一体となった観光地域づくり

##### ● 地域住民の取り組みによる観光資源の保全 和歌山県・熊野古道の事例

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は県を代表する観光資源であり、登録後は地域住民が植林等による景観保全やガイド養成で観光振興に取り組んでいる。



500m毎に、進行方向や番号等を付した標柱を設置



地域住民をガイドとして、養成



### 近畿が変わります Revive KINKI

近畿圏広域計画検討会議が、以下の機関で構成されています。

<府 県> 福井県 岐阜県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 岡山県 徳島県

<指定都市> 京都市 大阪市 堺市 神戸市

<市 町 村> 近畿市長会 近畿ブロック府県町村会

<経済団体等> (社)関西経済連合会 大阪商工会議所 (社)関西経済同友会 関西経産者協会 京都商工会議所 神戸商工会議所 堺商工会議所 関西広域機構

<国の地方支分部局> 警察庁近畿管区警察局 総務省近畿総合通信局 財務省近畿財務局 厚生労働省近畿厚生局 農林水産省近畿農政局 林野庁近畿中国森林管理局 経済産業省近畿経済産業局 国土交通省近畿地方整備局 国土交通省近畿運輸局 国土交通省神戸運輸監視部 国土交通省大阪航空局 気象庁大阪管区気象台 海上保安庁第五管区海上保安本部 海上保安庁第八管区海上保安本部 環境省近畿地方環境事務所

● ホームページでさらに詳しい情報を提供しています。

国土形成計画 近畿圏広域地方計画  
<http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/>

アクセスは、検索サイトから

近畿圏広域地方計画

検索